



常温核融合の 発見

固体—核物理学の展開と21世紀のエネルギー
小島英夫 著

大竹出版



フライシュマン=ポンスの常温核融合発見後、
その存在は一時疑われ、「スキャンダル」騒動を
巻き起こしたが、その後の8年間に、
世界各地の研究者達が地道な努力を続け、
常温核融合の存在を揺るぎないものにした。
理論研究の第一人者が語る
「新しい科学の創造」の物語。